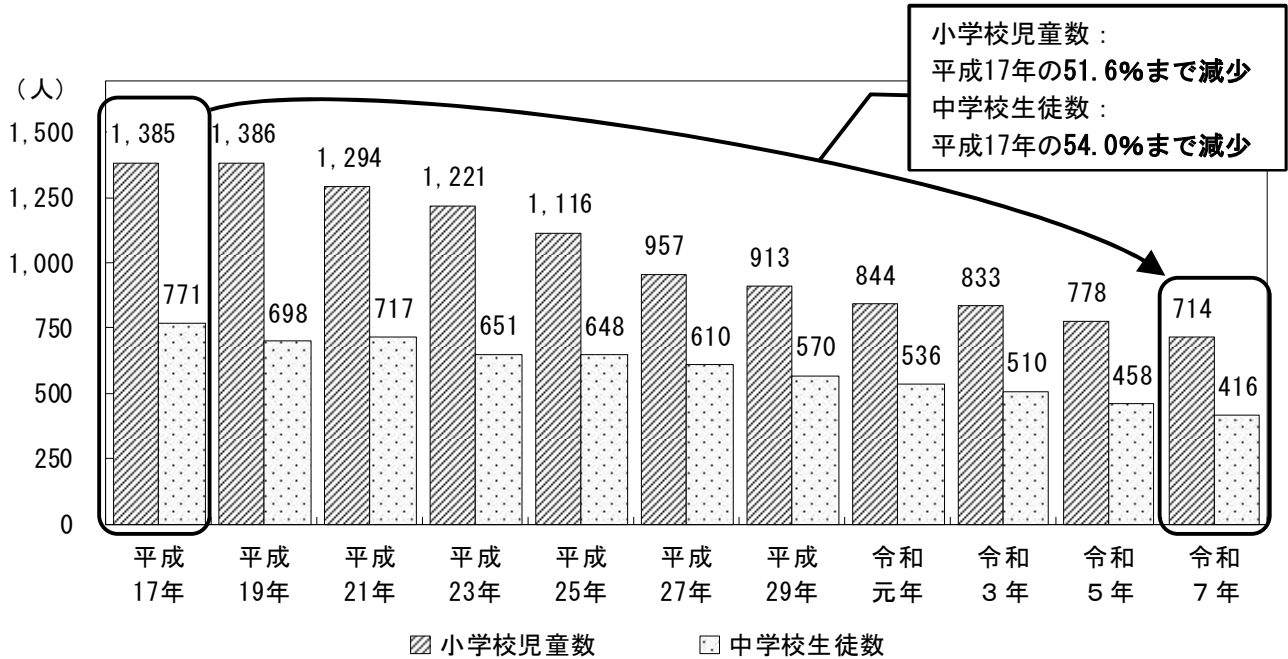


揖斐川町における学校教育の現状と課題

- ◆揖斐川町の児童生徒数は減少を続けており、平成17年から令和7年までの20年間で児童数、生徒数ともに半数近くに減少しています（図表1）。

図表1 児童生徒数の推移



時点：各年5月1日現在

- ◆小学校区別の出生数を見ると、いずれの小学校区も減少傾向にあり、昨年度の出生数は48人となっています。今後転出入により多少の増減は考えられるものの、令和13年度に新たに小学校に入学する新1年生は、町全体で50人程度となると見込まれます（図表2）。

図表2 小学校区別出生数の推移

単位：人

地 区	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	進学する中学校
	令和6年度生まれ	令和5年度生まれ	令和4年度生まれ	令和3年度生まれ	令和2年度生まれ	令和元年度生まれ		
揖斐小校区	6	10	12	10	16	13	67	揖斐川中学校
清水小校区	5	7	10	6	11	8	47	
小島小校区	11	18	16	17	25	18	105	
脛永地区 (養基小校区)	5	3	6	10	10	15	49	
大和小校区	10	11	9	8	14	13	65	北和中学校
北方小校区	2	4	10	10	10	12	48	
谷汲小校区	9	4	11	10	9	10	53	谷汲中学校
合 計	48	57	74	71	95	89	434	

時点：令和7年3月31日現在

◆小学校ではすべての学校において全学年1クラスの単学級編制となっており、さらに複式学級（2つ以上の異なる学年を1つのクラスに編制する学級）となっている学年もあります。

また、中学校では、1学年1クラスとなっている学校もあります（図表3）。

◆国は、望ましい学級数の考え方として、全学年でクラス替えを可能としたり、学習活動の特質に応じて学級を超えた集団を編成したり、同学年に複数教員を配置するために、1学年2クラス以上（小学校：1つの学校に12クラス以上、中学校：1つの学校に6クラス以上）あることが望ましいとしています。

◆さらに、中学校において免許外教科担任をなくし、すべての授業で教科担任による学習指導を行うためには、少なくとも1学年3クラス（1つの学校に9クラス以上）が望ましいとしています。（文部科学省：「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」（平成27年1月））

図表3 学校・学年別児童生徒数（令和7年5月1日現在）

【小学校】

単位：学級数はクラス、その他は人

小学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	学級数※	進学する中学校
揖斐小学校	12	17	21	24	17	26	117	8	揖斐川中学校
清水小学校	12	5	10	12	11	7	57	5	
小島小学校	36	19	26	28	28	36	173	8	
養基小学校（脛永地区）	9	14	14	17	16	16	86	9	
大和小学校	12	14	21	17	21	20	105	7	北和中学校
北方小学校	8	8	14	18	18	17	83	7	
谷汲小学校	13	21	16	11	20	12	93	7	谷汲中学校
合 計	102	98	122	127	131	134	714		
養基小学校（全校生徒）	21	30	27	34	33	31	176		

※特別支援学級を含む。

【中学校】

単位：学級数はクラス、その他は人

中学校名	1年生	2年生	3年生	合計	学級数
揖斐川中学校	77	83	88	248	11
北和中学校	37	43	43	123	7
谷汲中学校	17	18	10	45	3
合 計	131	144	141	416	

◆揖斐川町における小中学校の統合の経過について

＜平成の町村合併以降の小中学校の統合＞

時期	平成17年1月31日 (町村合併)	平成19年3月31日 長瀬小統合 (谷汲小) 藤橋小統合 (北方小) 藤橋中統合 (北和中)	平成26年3月31日 久瀬小統合 (北方小) 久瀬中統合 (北和中) 春日中統合 (揖斐川中)	令和4年3月31日 坂内小統合 (北方小) 坂内中統合 (北和中)	令和7年3月31日 春日小統合 (小島小)
小	11校	9校	8校	7校	6校
中	7校	6校	4校	3校	3校
計	18校	15校	12校	10校	9校
	(2年)		(7年)	(8年)	(3年)

・学校の小規模化を解消し、一定の集団規模を確保することにより、多人数での学び合い、見方や考え方の深化・拡充、人間関係づくりや社会性等の育成を重視してきたと考えられる。

◆「確かな学力」の育成について

※「全国学力・学習状況調査」：全国の小学6年、中学3年を対象に国語・算数/数学、(理科・英語)の検査を実施

＜令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果分析＞

国語(小中)の課題				算数(小)・数学(数)の課題			
▽事実と感想、意見との区別が明確でないなど、自分の考えを伝える書き表し方に課題がある。				▽図形や単位量当たりの大きさ等について、深い理解を伴う知識の習得や活用に課題がある。			
▽自分の考えを記述する際、必要な情報を取り出すことや表現効果を考えることに弱さがある。				▽集団のデータ分布の傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに弱さがある。			
Q1) 国語の勉強は好きですか。				Q2) 国語の勉強はよく分かりますか。			
校 種	揖斐川町	岐阜県	全 国	校 種	揖斐川町	岐阜県	全 国
小学校	49.1%	50.8%	62.0%	小学校	76.4%	85.1%	86.3%
中学校	58.0%	60.5%	64.3%	中学校	82.4%	82.8%	82.7%
Q3) 算数/数学の勉強は好きですか。				Q4) 算数/数学の勉強はよく分かりますか。			
校 種	揖斐川町	岐阜県	全 国	校 種	揖斐川町	岐阜県	全 国
小学校	57.3%	61.7%	61.0%	小学校	78.2%	83.7%	82.1%
中学校	55.1%	58.0%	57.2%	中学校	74.2%	77.9%	75.7%

◆「健やかな体」の育成について

＜令和6年度「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」結果分析＞

体力・運動習慣の側面	生活習慣・運動意識の側面
▽中学男子では、体力・運動面はコロナ前の水準に戻ったが、小学男子・中学女子では前年度からほぼ横ばい、小学女子は引き続き低下	▽学習以外のスクリーンタイムが3時間以上の割合は、小中男女ともに増加 ○「運動は好き」と答えた児童生徒は、小中男女ともに増加し、中学男子では過去最高
▽1週間の総運動時間が420分以上の割合は、小学校で増加、中学男子は横ばい、中学女子は減少	○「体育・保健体育は楽しい」と答えた児童生徒は小中男女ともに増加し、小中男子では過去最高
学校生活における取組	
○授業を通して、遊びやスポーツへの愛好度を高めるとともに、「チャレンジスポーツINぎふ」等の取組みを活用し、運動に親しもうとする意識を高めている。	
○体力向上に係る継続的な取組とその結果が評価され、令和6年度に管内の大和小学校が「岐阜県体力優良校」に選ばれた。5年生：体力テスト総合評価がC以上の児童の割合が男子90.0%、女子77.8%	

◆「豊かな心」の育成について

＜令和6年度「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙調査の結果＞

質問項目	区分	小学校		中学校	
		そう思う	どちらかという うとそう思う	そう思う	どちらかという うとそう思う
自分には、よいところがあると思いますか。	揖斐川町	44.5%	46.7%	47.1%	40.4%
	岐阜県	42.1%	43.1%	42.3%	42.2%
	全 国	43.4%	40.7%	40.4%	42.9%
将来の夢や目標を持っていますか。	揖斐川町	46.4%	32.7%	35.3%	27.2%
	岐阜県	58.3%	22.9%	37.1%	29.7%
	全 国	60.6%	21.8%	36.1%	30.2%
人が困っているときは、進んで助けていますか。	揖斐川町	49.1%	46.4%	52.9%	38.2%
	岐阜県	49.6%	44.2%	43.3%	48.5%
	全 国	46.0%	46.7%	38.3%	51.8%
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	揖斐川町	30.0%	50.0%	40.4%	47.8%
	岐阜県	37.1%	47.5%	29.0%	49.8%
	全 国	36.8%	46.7%	26.4%	49.7%

◆ふるさとへの誇りと愛着を育てる「ふるさと学習」について

- ◎ 地域の自然・歴史・伝統文化・産業等について学ぶ「ふるさと学習」の取り組みを通して、ふるさとへの誇りと愛着を育み、よりよい地域社会をつくり、貢献する活動にチャレンジする。

＜「地域の伝統文化を学ぼう！」（揖斐小）＞

- ・地域の伝統文化として受け継がれている「子ども歌舞伎」。お囃子の横笛奏を体験しながら祭りの歴史や先人の思いについて考えを深める。

＜「まち探検に出かけよう！」（清水小）＞

- ・お世話になっている地域の皆さんとの出会いながら地元の名所や旧跡、商店街や事業所、公共施設等を訪問し、ふるさとの自慢を発見・体験し、発表交流する。

＜「豊かな地域の自然を守ろう！」（北和中）＞

- ・揖斐川町は約91%を森林のまち。地域の森林資源は生命を育てることにつながっている。生徒たちが豊かな自然を守る活動に取り組んでいる。



◆ICTを活用した授業改善（学びのDX化）について

令和6年度「全国学力・学習状況調査」 児童生徒質問紙調査	小学校6年		中学校3年	
	揖斐川町	全 国	揖斐川町	全 国
授業でタブレット等の機器を活用していますか。 （ほぼ毎日、週3日以上）	50.9%	59.5%	82.3%	64.4%
学校の授業時間以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、タブレット等のICT機器を勉強のために使っていますか。 （上段：3時間以上/下段：2時間以上3時間未満）	3.6%	3.2%	2.9%	2.3%
	4.5%	4.3%	4.4%	3.8%



◆グローバル人材の育成（価値観の異なる様々な人たちとの交流）について

＜中高生海外派遣研修＞

- ・米国セントジョージ市でのホームステイ、現地校との交流等を実施
- ・いびがわマラソンで現地中学生の受入れを実施

＜小学生県外派遣研修＞

- ・北海道芽室町での民泊、農業体験等を実施
- ・揖斐川町への児童の受入れ、交流活動を実施

＜ALT英会話の授業＞

- ・計6人のネイティブスピーカーによる授業
（小学校3日間/週、中学校5～3日/週）
- ・小学校英語指導員2人を小学校2校に配置し、英語の授業をサポート

＜海外・県外遠隔授業＞

- ・G K I 岐阜県人会等の紹介で現地の皆さんと交流
- ・県外の小中学校や異校種及び異学年間による交流活動を実施



◆連携型中高一貫教育（県立揖斐高校&揖斐川中、北和中、谷汲中）

＜平成16年度からの「連携型中高一貫教育校」＞

- ・高校と中学校が、目標や育成する生徒像を共有し、学習・学校行事等の教育活動や教員間、生徒間の交流等を深める。
- ・地域社会との連携・協力を図る。

＜入学者選抜を工夫して実施＞＝「連携型選抜」入試

- ・面接、学力検査（5教科）



◆多様な学びの場の保障（「立志式」・「地域学び塾」・「町長と語る会」）について

＜多様な学びの場の保障＞

- ◎ 子供たち一人一人がもつ能力等を引き出し、学習意欲を高めながら、自己肯定感や社会への参画意識を育む活動を行っている。

＜「立志式」（中学3年生）＞

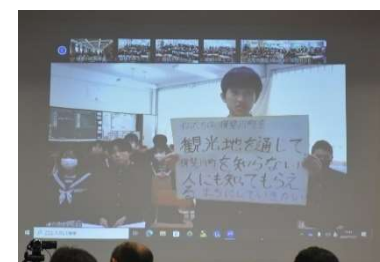
- ・町内で学ぶ中学3年生が将来の生き方や進路の実現に向けて誓いを立て、仲間や先輩との交流を通してキャリア形成を図る。

＜「地域学び塾」（中学生）＞

- ・中学生を対象に夏休みの15日間・8会場で講座を開設し、OB教員や大学生等の支援員のサポートにより、生徒が自ら計画を立てて学習を進める力を育んでいる。

＜「町長と語る会」（中学3年生）＞

- ・町内の中学3年生が町政やまちづくりをテーマに町長と意見を交わし合う。地域の課題について考えてきたことを踏まえ、よりよい社会をつくる取組みを提案する。



◆地域とともにある学校づくりの推進（コミュニティ・スクール）について

＜すべての町立小中学校に「学校運営協議会」を設置＞ 令和7年4月1日

- ・「コミュニティ・スクール」は、地域の方に委員となつていただく「学校運営協議会」を設置する学校で、学校と地域（以下、家庭を含む）が一体となって子供たちの育ちを支援する、“地域とともにある学校”への転換を目指している。
- ・誰一人取り残さない教育を推進することや学校だけでは解決が難しい課題の解決を図ることなどに向けて、保護者や地域住民が、教育の当事者となって子供たちの健全育成に携わる体制を各学校に整える。

